



感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第32週 (8/4 ~ 8/10)

三宅島 ヘルパンギーナ : 1 件

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 2 件

御蔵島 感染症の報告はありません

令和7(2025)年 第33週 (8/11 ~ 8/17)

三宅島 感染症の報告はありません

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患 < 東京都感染症週報 第32週 >

- ・新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は、4.70で前週(4.45)より増加しています。
- ・ヘルパンギーナの定点あたり報告数は、2.12で前週(1.86)より増加しています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告) < 第33週(8/11 ~ 8/17) >

- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.55で前週(0.55)から横ばいです。
- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、4.09で前週(5.36)より減少しています。

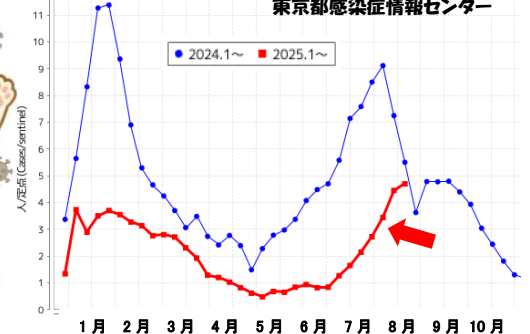
NEWS 新型コロナウイルス感染症の流行状況について

東京都の新型コロナウイルス感染症の流行状況は、昨年の報告数には及ばないものの、夏場に入り7週間ずっと増加傾向が続いています。

関東圏における第32週(8/4~8/10)の新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数は、東京都:4.70、神奈川県:7.07、千葉県:8.70、埼玉県:9.26、茨城県:8.29、栃木県:6.96、群馬県:4.12、山梨県:5.38 となっており、群馬県を除きいずれも東京都より数値が高くなっています。各方面に行かれる際はご注意ください。



新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数の推移(東京都)
東京都感染症情報センター



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の国内での発生状況について

ウイルスを保有するマダニに刺されることにより感染する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ですが、今回初めて北海道にて陽性者が確認されました。西日本を中心に症例が報告されていましたが、今後、陽性者は他の地域へ広がる可能性があります。現在、マダニの活動が活発な時期です。山野に入る際は、長袖、長ズボンを着用するなどマダニに刺されないように予防措置を講じてください。

参考: 東京都感染症情報センター、神奈川県感染症情報センター、千葉県感染症情報センター、埼玉県感染症情報センター、茨城県感染症情報センター、栃木県感染症情報センター、群馬県感染症情報、やまなし感染症ポータルサイト、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の国内での発生状況について(厚生労働省)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



東京都感染症情報センター



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の国内での発生状況
(厚生労働省)

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 33 週

令和7年 8/11 ~ 8/17

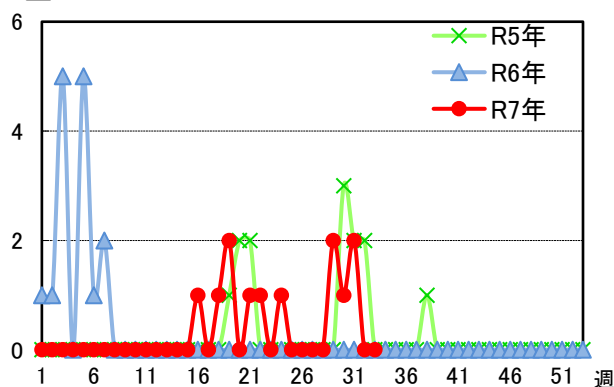
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 32 週
	28 週	29 週	30 週	31 週	32 週	33週		
RSウイルス感染症							0 (0)	1.00
咽頭結膜熱							0 (0)	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	1.93
感染性胃腸炎		2 (0)	1 (1)	2 (0)			12 (3)	4.63
水 痘							0 (0)	0.36
手 足 口 病							0 (0)	0.59
伝染性紅斑							0 (0)	0.43
突発性発しん							0 (0)	0.33
ヘルパンギーナ					1 (0)		1 (0)	2.12
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.04
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.02
不明発しん症							0 (0)	0.20
インフルエンザ							58 (3)	0.25
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	2 (2)	7 (6)		1 (0)	2 (0)		52 (18)	4.70

※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

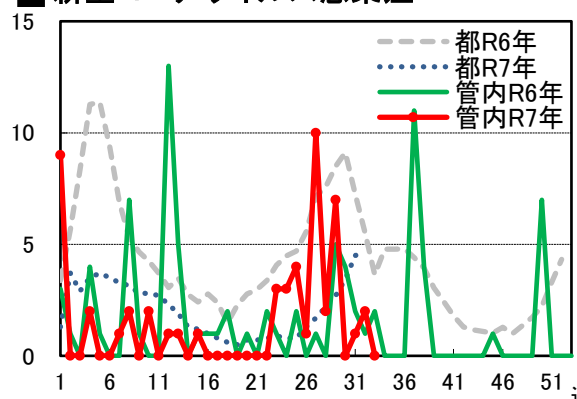
【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症発生状況は、落ち着いていますが陽性者がいないわけではありません。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。